



中筋小学校だより

校訓 ～ 強い身体 正しい心 ～

舞鶴市立中筋小学校
 学校だより 12月号
 令和5年11月30日発行
<http://nakasuji.maizuru.edumap.jp/>
 ☎ 75-0372

学校HP



ことばのかたち

去る11月20日(月)に人権旬間(11/20～12/8)の始まりを告げる「人権集会」を行いました。その中で、人権担当から一つの絵本の読み聞かせがありました。お一なり由子著『ことばのかたち』という絵本でした。～もしも、ことばが目に見えるなら～をテーマに、自分の話す“ことば”は、どんな形や色をしているだろうと投げかけながら、お話が進んでいきます。子どもたちには、「ふわふわことば」や「ちくちくことば」といったようにできるだけ使う言葉をイメージしやすいような工夫をしますが、この絵本で描かれている“ことばの形や色”をイメージすることで、子どもたちには使いたいことばと使ったらよくないことばの区別がより分かりやすくなるかもしれません。絵本の中では、

「たとえばー うつくしいことばは 花のかたち 色とりどりの花びらとなって くちびるから はらはらまいおちる」(本文から引用)なんて美しい表現なんだろうと感じました。また、反対に「たとえばー だれかを傷つけることばが 針のかたちをしているとしたら どうだろう 話すたびに とがった針が口から発射されて 相手に刺さるのが見えたとしたら 目のまえて つきささる針 思いもよらないことばが 相手にささるのを見ることになるかもしれない」(本文から引用)と、どきどきとする表現ではありますが、場面が想像されて、きっと子どもたちの心に刺さるだろうなと感じました。

今年度の人権旬間のテーマは、昨年度と同じく“ことば”です。人と人とのコミュニケーションにおいて、“ことば”はなくてはなりません。時には“ことば”は人の生死までも左右しかねません。今年の人権集会では、昨年度も話した内容を改めて子どもたちに伝えました。

相手の気持ちを
想像する力

心温を上げる

「口」は、人をはげますことばや感謝のことばを言うために使おう。
 「目」は、人のよいところを見るために使おう。
 「耳」は、人のことばを最後まで聴いてあげるために使おう。
 「手足」は、人を助けるために使おう。
 「心」は、人の痛みがわかるために使おう。



※「心温」…心の温度という意味

この話を受けての児童の反応・・・



【人権標語】6年生 「ありがとう 心のセカイに 一輪の花」

【集会後の感想】3年生

校長先生の話にもあったように、みんなちがってみんないいことをみとめ合って、人権じゅん間でも、その期間がすぎても、ちがいをを見つけあい、そのちがいを活かした生活をしていきたいです。ちがいをみとめ合って、苦手なことは手伝い、ちがいでくべつせずに、思いやりのある中筋小学校にしていきたいです。

【令和5年度舞鶴市人権標語佳作】1年 坂上 陽架 「ひとつだけ きみのいのちは たからもの」

この人権旬間の取組が学校全体の大きな“うねり”を生み出し、全校児童と全教職員が同じ“熱”をもって取り組むことで、ますます居心地のよい中筋小学校にしていきます。

明日から12月に入ります。これまでの学習や行事を通して身に付けた力を、自分の確かな力とするためにまとめをしっかり行い、3学期そして新学年へのステップとなるように取り組んでまいります。12月も保護者の皆様、地域の皆様の温かいご理解とご支援をどうぞよろしくお願いいたします。

校長 亀井 敬介 教職員一同

<1本の襷に思いをのせて>

11月11日(土)に、青葉山ろく公園内特設コースにおいて、第33回舞鶴市小学生駅伝競走大会が開催されました。4年ぶりに従来の形で行われました。

本校からは、5・6年児童で編成した4チームが出場しました。雨が降り、気温も低い悪いコンディションでしたが、出場した児童は、学校の代表として、仲間とともに深めた“絆”を襷に載せて、最後まで粘り強く走り切りました。

【駅伝の部結果】

第2位	35分03秒	中筋A	山田凜咲	澤田 匠	土橋心夏	藤本權斗	今崎咲菜	小畑大和
第6位	36分32秒	中筋B	田中美玲	平岡侑馬	井上由梨	有田瑛翔	谷田琳瑠	前田 蒼
第17位	37分34秒	中筋C	西馬奈々	阪根顕心	西山優和	山口真正	松江慈和	亀村倅志
第23位	39分12秒	中筋D	谷口心那	山本耕平	森下好香	玖津見隼斗	今西唯月	川村颯太

【区間賞】第4区 6分8秒 藤本權斗

【1000mタイムトライアル出場者】

伊藤唯人 柴山功暉 徳川絢介 塩見悠之 村田穂乃佳 坂本初音 日高瑠菜 南部心春

